

オートタンパー **M3** **M5** 取扱説明書/保証書

puo[®]

PRESS

USER MANUAL

Auto Tamper

M3 for E65S / E65S GbW

M5 for E80S / E80S GbW

保証書はこの取扱説明書に付いており
ますので、販売店の記入をお受けください。

メリタジャパン株式会社  0570-550267

受付時間: 9:00~12:00 / 13:00~17:30
(土日祝日・年末年始を除く)

[®]
JAPAN



エスプレッソ 愛好家の皆様へ

PUQpressをお買い求めいただき、
また当社製品にご信頼をお寄せい
ただき、誠にありがとうございます。

PUQpressのフルオートタンパーは、
完璧なエスプレッソへの情熱と優
れた技術を注いで開発されました。
当社のスペシャリストがあらゆる知
識を費やし、一杯のエスプレッソを
完璧に仕上げるために不可欠な要
素、タンピング圧を標準化する究極
のツールの開発に尽力しました。

皆様がPUQpressを最大限にお楽
しみいただけるよう、このマニユア
ルをよく読み、お読みになった後は
お手元で保管してください。ご不明
な点がありましたら、お気軽にメリ
タジャパン株式会社まで直接お問
い合わせください。

新しいPUQpressで完璧な
エスプレッソをお楽しみください！

アムステルダムより皆様へ
Barista Technology B.V.

輸入代理店 メリタジャパン株式会社

目次 C O N T E N T S

1	製品の特長	P2
2	安全上のご注意	P3
	2.1_掲載のマークについて	P3
	2.2_安全上の注意	P3
	2.3_ユーザー要件	P4
	2.4_保証	P4
	2.5_廃棄	P4
3	製品仕様	P5
	3.1_PUQpressの用途	P5
4	操作部と名称・付属品	P6
5	ポルタフィルタークランプの調整	P7
	5.1_クランプの高さ調整	P7
6	コーヒージェインダーのセット	P8
	6.1_コーヒージェインダーのセットアップ	P8
	6.2_PUQpressの電源を入れる	P8
7	操作	P9
	7.1_必要なツールと素材	P9
	7.2_PUQpressの使用手順	P9
	7.3_タンピング圧の調整	P9
	7.4_タンピングモードの選択	P9
	7.5_タンピングサイクル数の確認	P10
	7.6_清掃サイクル数の確認	P10
	7.7_PUQpressの電源を切る	P10
8	清掃とお手入れ	P10
	8.1_必要なツールと素材	P10
	8.2_お手入れ方法と頻度	P10
	8.3_タンパースペースの清掃	P11
9	保管とメンテナンス	P11
	9.1_保管	P11
	9.2_メンテナンス	P11
10	トラブルシューティング	P12
11	別売品	P13
12	保証書	P14

PUQpress オートタンパー M3 と M5 の主要機能



M3



M5

対応するコーヒグラインダー

E65S、E65S GbW

E80S、E80S GbW

1日のタンピング回数

無制限

タンピング圧設定

5～30kg (1kg単位で設定可能)

各種ポルタフィルターに対応

直径 53.0～58.3mmに対応

均質なタンピングを提供

毎回、設定通りに均一で水平なタンピング

5種類の多彩なタンピングモード搭載

SPEEDY 1.3秒でタンピングを2回行います

PRECISE タンピング後にタンパーをゆっくり引き戻します

SOFT 5～15kgの弱いタンピングをし、タンピング後にタンパーをゆっくり引き戻します

HULK タンピングを3回行います

SINGLE タンピングを1回のみ行います

2 安全上のご注意

2.1_掲載のマークについて



この「警告」マークは、回避されない場合、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある危険な状況を示します。



この「注意」マークは、回避されない場合、軽傷または中程度の負傷につながる可能性のある危険な状況を示します。注意は身体への負傷に関連しない注意事項を表すためにも使用されます。



この「注記」マークは有益な情報を示します。

2.2_安全上の注意

警告

- PUQpressは本書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいた上で設置してご使用ください。本書はいつでも参照できるように保管してください。
- PUQpressは必ず本書に記載の指示に従ってご使用ください。
- このオートタンパーは、8歳以上のお子様や身体の不自由な方、知覚の鈍い方、知的能力の弱い方、経験や知識が不足している方でも、監督者がついていない場合、またはグラインダーの安全な使用について研修を受けており、発生する危険について理解している場合はご使用いただけます。
- お子様がPUQpressで遊ばないようにご注意ください。これに従わない場合、PUQpressの破損につながる恐れがあります。
- 清掃およびユーザーメンテナンスは、監督下でないお子様が行わないようにしてください。
- 電気ショックや負傷を防止するため、コード、電源プラグまたはPUQpress本体を水やその他の液体につけないようご注意ください。
- 電気ショックや負傷を防止するため、PUQpressのメンテナンスや清掃を実行する前に、必ずPUQpressの電源をオフにしてください。

●電気ショックや負傷を防止するため、PUQpressのメンテナンスまたは清掃を実行する前に必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

●電気ショックや負傷を防止するため、トラブルが生じた場合は必ずPUQpressを電源およびその他の装置から切り離してください。

●PUQpress本体、コードや電源プラグなどが破損している場合は、PUQpressを使用しないでください。修理が必要な場合は必ず認定サービス業者に依頼してください。この場合はメリタジャパンお客様相談室またはお近くの販売店にお問い合わせください。破損したPUQpress、コードまたは電源プラグの使用は、電気ショックや負傷につながる恐れがあります。

注意

- ご使用前に必ず下部クランプを調整してください。これを行わない場合、危険のある可動部品が露出する恐れがあります。
- PUQpressベースと下部クランプの間に決して手指(や足)を入れないでください。挟まれる危険があります。
- PUQpressを改造したり変更を加えたりしないでください。これらの指示に従わなかった結果生じた損害に対してメーカーは一切責任を負わないものとします。
- PUQpressを落下させたり衝撃を与えないでください。PUQpressの破損につながります。

●PUQpressの電源コードを抜く際に、絶対にコードを引っ張らないでください。必ず電源プラグ部分を持って抜き出してください。

●PUQpressは振動のない平面に設置してください。

●PUQpressは湿った、または濡れた場所では絶対に使用しないでください。

●すべての調整を完了後にポルタフィルター（付属品ではありません）にガタつきがないかを確認してください。

●タンパーベースの清掃には湿った布や濡れた布を使用しないでください。コーヒー粉がタンパーベースに貼り付く原因となります。

●流水が使用される場所には絶対にPUQpressを設置しないでください。

●ジェット水、スチームクリーナーやエアダスターでPUQpressを洗浄・清掃しないでください。

2.3_ユーザー要件

このPUQpressのユーザーに必要な特別な要件はありません。PUQpressは本書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいた上で設置またはご使用ください。本書はいつでも参照できるように保管してください。

2.4_保証

●保証期間はご購入求めの日付より1年間です。

●保証には内部素材または製造上の欠陥に起因しうるあらゆる損害を含みます。対象となるPUQpressは無料で修理または交換いたします。製品返送中の損害防止のため、PUQpressを適切に梱包いただくようお願いいたします。

●この保証には以下に起因する損害は含まれません。

- － 不適切な使用
- － 不適切なメンテナンス
- － アフターサービスの不足
- － 意図された用途以外の目的での使用
- － 不適切な設置
- － 破損
- － 自然消耗または当社の影響範囲外の理由

●保証を維持するため、交換部品および付属品は必ず純正品をご使用ください。

●メーカーは、純正品以外を使用したために生じた損害または二次的損害については一切責任を負わないものとします。

●認定業者以外が実行した修理に起因する費用は保証の対象外となります。

2.5_廃棄

廃棄はお住まいの市町村のごみ出し基準に従ってください。

製品およびパッケージに記載のマークについて



PUQpressが電気クラスⅠ製品であり、伝導性部品を固定配線して、基礎絶縁が故障した場合にこれらの部品に電流が流れないように保護（接地）導体に接続する手段が備わっていることを示しています。



PUQpressが割れ物であることを示しています。



PUQpressは乾燥した状態を維持しなければならないことを示しています。



PUQpressは慎重に取り扱わなければならないことを示しています。



PUQpressのパッケージはこの面を上にして取り扱わなければならないことを示しています。



ご使用前にマニュアルをお読みください。

3 製品仕様

3.1_PUQpressの用途

PUQpressはフルオートエスプレッソタンパーとしての使用を意図した製品です。
挽いたコーヒー粉を、タンピング圧を調節してタンピングすることができます。

PUQpressは室内でご使用ください。

PUQpressの改造はしないでください。安全性、保証および正常な機能に悪影響を及ぼす危険性があります。



M3

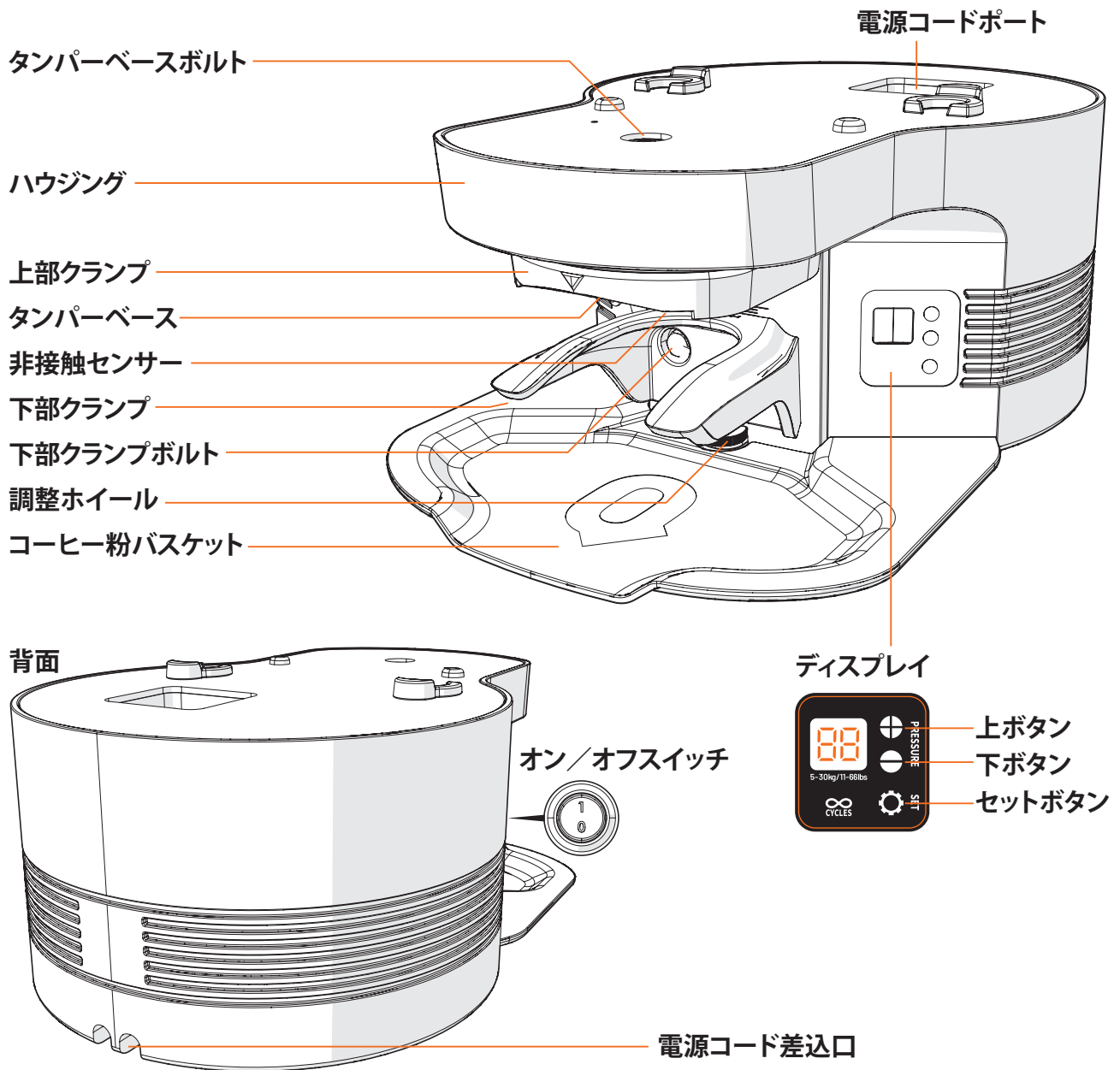


M5

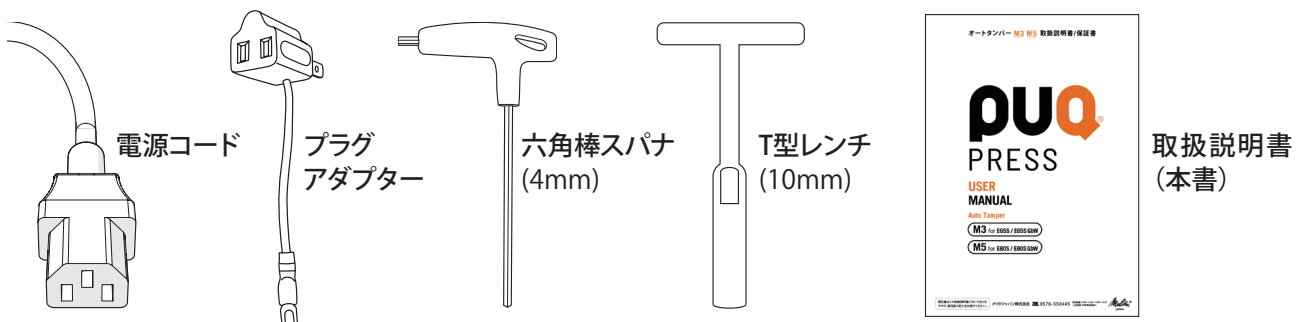
適合する コーヒーグラインダー	Mahlkönig E65S Mahlkönig E65S GbW	Mahlkönig E80 Supreme Mahlkönig E80S GbW
電圧	100V	100V
周波数	50 – 60 Hz	50 – 60 Hz
消費電力	76 W	76 W
電流	0.7 A	0.7 A
寸法	幅194 x 奥行283 x 高147 mm	幅233 x 奥行338 x 高147 mm
重量	4.6 kg	5.5 kg
タンピング圧	5 ~ 30 kg	5 ~ 30 kg
タンパー直径	53.0~58.3mm	53.0~58.3mm
推奨タンピング回数	無制限	無制限
カラー	ブラック、ホワイト	ブラック、ホワイト

*オプションのコーヒーグラインダーはPUQpressモデルに適合します。ただしハウジングの配置は最適ではありません。

4 操作部と名称・付属品



同梱付属品 (M3 M5 共通)



注記 開梱直後に、すべての部品が揃っており各部品に損傷がないか確認してください。
欠品や破損がみられる部品がある場合は、メリタジャパンお客様相談室までお問い合わせください。

5 ポルタフィルタークランプの調整

5.1_クランプの高さ調整

必要なツールと素材

- ポルタフィルター ※付属品ではありません
- T型レンチ (付属品)

PUQpressは様々なエスプレッソマシンのあるゆるポルタフィルターがクランプにフィットし、均等かつ水平なタンピングが可能となるよう設計されています。

❗ ご使用前に必ず下部クランプを調整してください。これを行わない場合、危険のある可動部品が露出する恐れがあります。

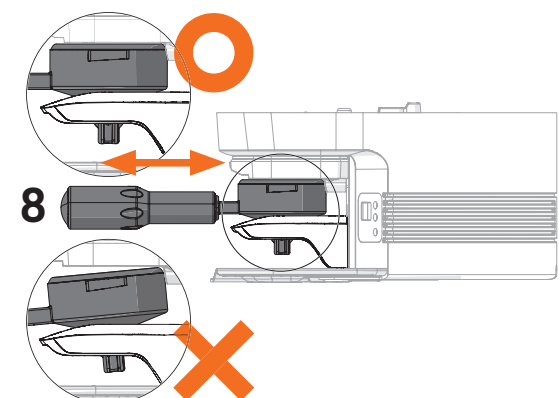
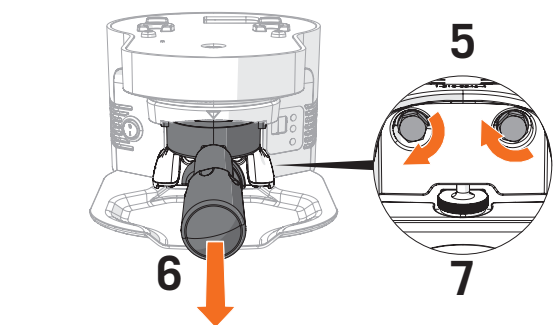
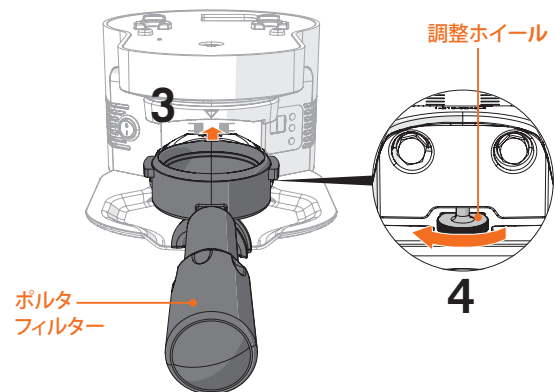
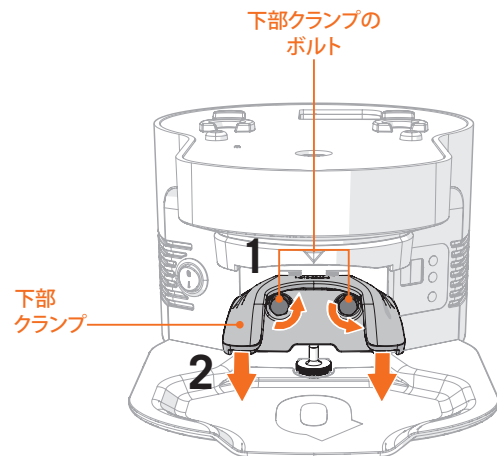
注記 ご使用前に必ず下部クランプを調整してください。これを実行しない場合、タンピングの均一性が保たれません。

- 1_下部クランプのボルトを少しだけ緩めます。付属のT型レンチを使用してください。
- 2_下部クランプを下に引っ張ります。
- 3_ポルタフィルターを上部クランプと下部クランプの間に挿入します。
- 4_調整ホイールを時計回りに回転させ、下部クランプをポルタフィルターに向けて上に動かします。
- 5_下部クランプのボルトを少しだけ締めます。付属のT型レンチを使用してください。

注記 ボルトを完全に締めないように注意してください。

❗ 調整後、ポルタフィルター (付属品ではありません) にガタつきがないか確認してください。

- 6_ポルタフィルターを取り外します。
- 7_下部クランプのボルトをT型レンチで締めます。
- 8_ポルタフィルターを上部クランプと下部クランプの間に挿入し、ポルタフィルターがスムーズにスライドするか確認します。
- 9_ポルタフィルターが緩すぎる場合は1.のステップからやり直してください。



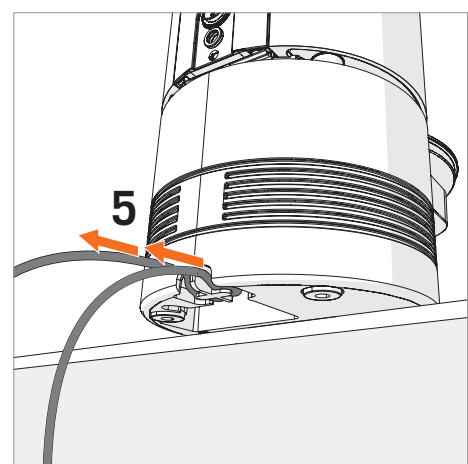
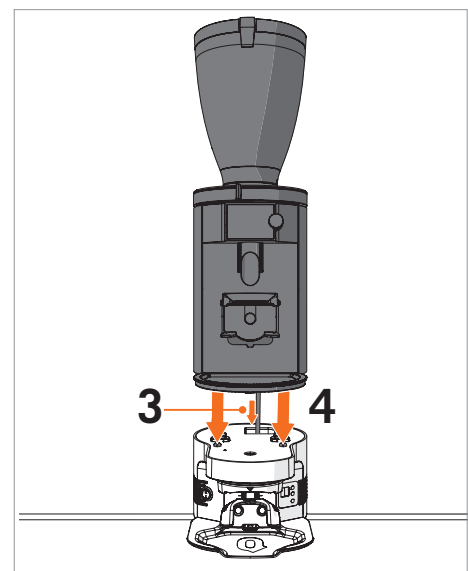
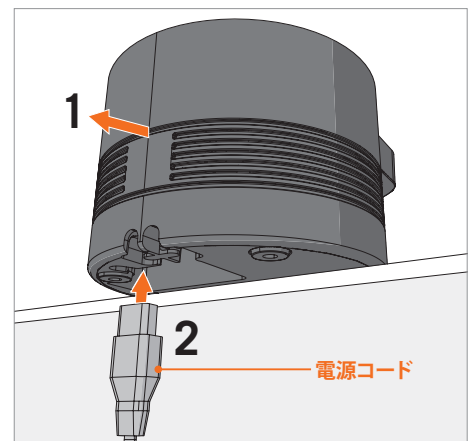
6 コーヒーグラインダーのセット

6.1 コーヒーグラインダーのセットアップ

❗ PUQpressは振動のない平面に設置してください。

- 1_ 設置したいテーブルの角やカウンターの上にPUQpressの背面をスライドさせます。
- 2_ PUQpressに電源コードを差し込みます。
- 3_ コーヒーグラインダーを二人で持ち上げ、コーヒーグラインダーの電源コードをPUQpressの上から下へと配線します。
- 4_ PUQpressにコーヒーグラインダーをセットします。
- 5_ PUQpressとコーヒーグラインダーの電源コードを電源コード差込口に通して配線します。
- 6_ カウンターまたはテーブルにセットしたものを慎重にスライドさせて戻します。

❗ 電源コードは必ずコードガイドと底のクリップに通して配線してください。これに従わない場合、電源コードの破損につながる恐れがあります。



6.2 PUQpressの電源を入れる

- 1_ 電源コードのプラグを持って壁コンセントに差し込みます。
- 2_ オン/オフスイッチをIにセットしてPUQpressの電源をオンにします。



PUQpress、電源コードまたはプラグが破損している場合は、PUQpressを使用しないでください。修理が必要な場合は必ずメリタジャパンお客様相談室にご依頼してください。破損したPUQpress、コードまたはプラグの使用は、身体への電気ショックや負傷につながる恐れがあります。

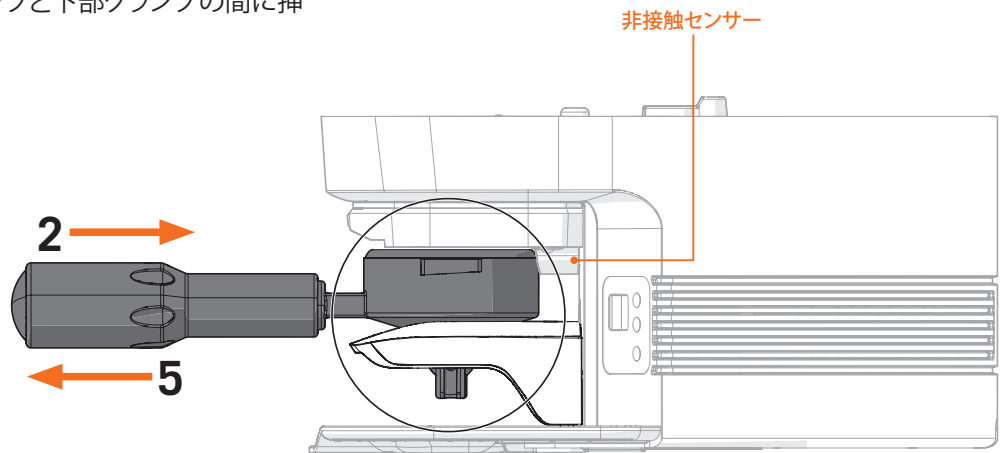
7 操作

7.1_必要なツールと素材

◎挽いたコーヒー粉とポルタフィルター ※付属品ではありません

7.2_PUQpressの使用手順

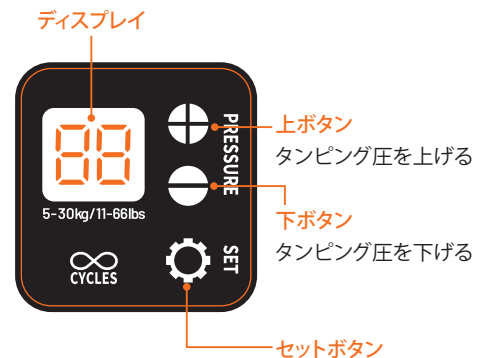
- 1_ポルタフィルターのコーヒー粉を平らにします。
- 2_ポルタフィルターを上部クランプと下部クランプの間に挿入します。
- 3_PUQpressは自動でコーヒーのタンピングを開始します。非接触センサーが金属のポルタフィルターを検知します。
- 4_PUQpressがコーヒーをタンピングし終わるまで待ちます。
- 5_約1.3秒のフルサイクルが終わったらポルタフィルターを取り外します。



7.3_タンピング圧の調整

ディスプレイとボタンを使用してタンピング圧を調整します。

- 1_上ボタンと下ボタンを使用して、1kg単位で調整できます。
- 2_セットボタンを押してタンピング圧設定を確定します。



注記 タンピング圧はキログラム (kg) またはポンド (lbs) でディスプレイ表示されます。

7.4_タンピングモードの選択

- 1_セットボタンを5秒間長押しします。
- 2_上ボタンと下ボタンを使用してタンピングモードを選択します。
- 3_右表「ディスプレイ表示とタンピングモード」を参考にお好みのモードを選択してください
- 4_設定を確定するにはセットボタンを押します。

ディスプレイ表示とタンピングモード

表示	設定モード	タンピング動作
P0	SPEEDY	通常タンピング速度 1.3秒
P1	PRECISE	タンパーベースの スロー引き戻し
P2	SOFT	タンパーベースの スロー引き戻し、 低いタンピング圧 (5-15kg)
P3	HULK	トリプルタンピング
P4	SINGLE	シングルタンピング

7.5_タンピングサイクル数の確認

タンピングサイクル数は、本機がそれまでにタンピング動作をした累計回数です。

※ポルタフィルターにコーヒー粉がセットされていない状態で作動した場合も回数に含まれます。

- 1_上ボタンと下ボタンを両方同時に3秒間長押しします。
- 2_ディスプレイ内に「数字」が5秒間点滅します。この「数字に5,000をかけ合わせた数値」がタンピングサイクル数となります。

7.6_清掃サイクル数の確認

清掃サイクル数とは、本機タンパーベースの清掃手順を操作した累積回数です。※実際に清掃した回数を正確に示すものではありません。実際の清掃は、清掃手順に従って布などでタンパーベースを拭き取る作業を行う必要があります。

- 1_セットボタンを押してクリーンモードを選択します(ディスプレイ「CL」表示)。
- 2_上ボタンと下ボタンを両方同時に3秒間長押しします。
- 3_ディスプレイ内に「数字」が5秒間点滅します。この「数字に20をかけ合わせた数値」が清掃サイクル数となります。

7.7_PUQpressの電源を切る

- 1_オン/オフスイッチをOにセットしてPUQpressの電源をオフにします。
- 2_電源プラグを持って壁コンセントから電源コードを抜きます。
- 3_PUQpressから電源コードを抜きます。

8 清掃とお手入れ

8.1_必要なツールと素材

- ブラシ
- 湿らせた布
- 乾いた布
- 六角棒スパナ(付属品)

8.2_お手入れ方法と頻度

PUQpressのハウジングを湿らせた布で拭きます。その他のお手入れ方法と頻度は右表を参照してください。

お手入れ方法と頻度

清掃部分	お手入れ方法	お手入れ頻度
タンパーベース(底)	乾いた布	毎日
タンパーベース(全体)	乾いた布	毎週
上部クランプの空洞部 (タンパーベース取り外し時)	乾いた布	毎週
非接触センサー	ブラシ	毎週

注記 お手入れ方法と頻度に従ってPUQpressのお手入れをしてください。これに従わない場合PUQpressの部品の破損につながる恐れがあります。

8.3_タンパーベースの清掃

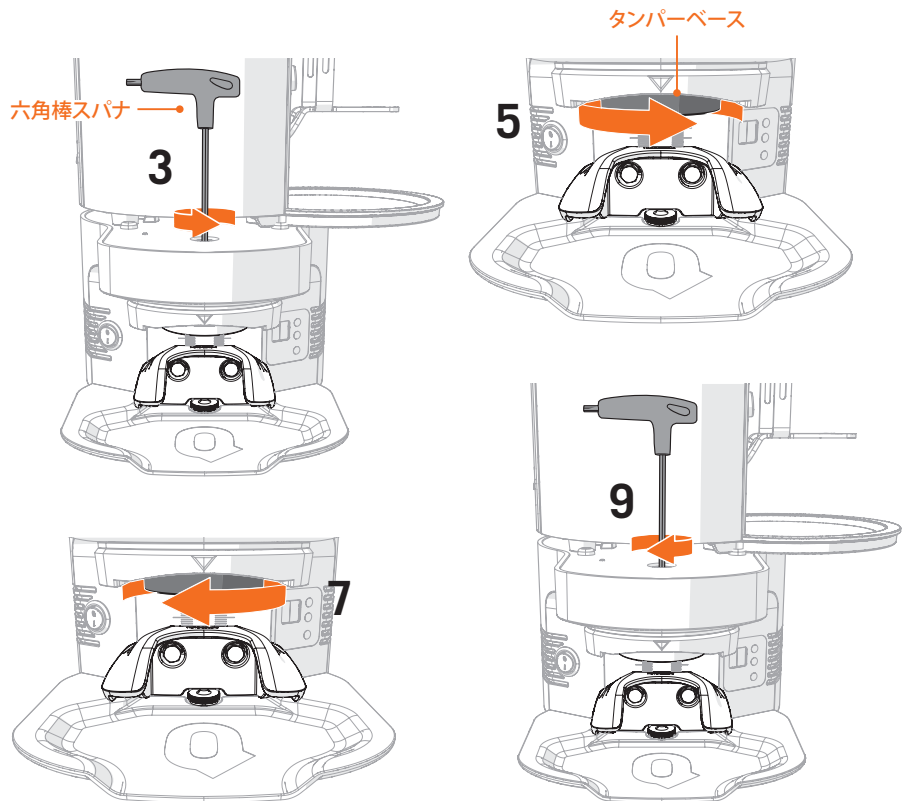
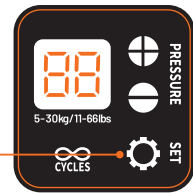
タンパーベースは定期的に清掃してください。

- 1_セットボタンを押します。タンパーベースが清掃位置まで下がります。
- 2_本機上部のコーヒーグラインダーを90度回転させて、タンパーベースのボルトが見える位置に置きます。
- 3_タンパーベースのボルトを六角棒スパナ(付属品)で反時計回りに回して緩めます。
- 4_ボルトを外します。
- 5_タンパーベースを反時計回りに回して取り外します。
- 6_ブラシか乾いた布でタンパーベースを清掃します。
- 7_清掃後のタンパーベースを時計回りに回して取り付けます。
- 8_ボルトを付けます。
- 9_タンパーベースのボルトを六角棒スパナ(付属品)で時計回りに回して締めます。
- 10_コーヒーグラインダーを回して元の位置に戻します。
- 11_再びセットボタンを押します。タンパーベースが元の位置まで上がります。



タンパーベースの清掃には湿った布や濡れた布を使用しないでください。コーヒー粉がタンパーベースに付着する原因となります。

1 セットボタン



9 保管とメンテナンス

9.1_保管

PUQpressはお子様の手が届かない、乾燥した安全な室内に保管してください。

9.2_メンテナンス

修理

修理が必要な場合は、必ずメリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。P3「安全上のご注意」を参照ください。タンパー直径の異なる新しいエスプレッソマシンをお持ちの場合は、メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。すべてのメンテナンスおよび修理は、メリタジャパンお客様相談室にご依頼いただくことを推奨いたします。

交換部品の注文

交換部品はメリタジャパンお客様相談室にご注文ください。

ご注文を迅速に正しく処理するため、以下の情報をお知らせください。

●本体の製造番号

●交換部品の名称。P6「操作部と名称・付属品」に記載の部品名称と同じ名称でご指定ください。

10 トラブルシューティング

トラブル内容	原因	解決策
コーヒー粉がタンパーベースに付着する。	タンパーベースがベタベタしている、または汚れている。	タンパーベースを清掃してください。
	タンパーベースが濡れている。	タンパーベースを乾かしてください。
PUQpressが起動しない、ディスプレイが機能しない。	電源コードがPUQpressに挿入されていない。	PUQpressに電源コードを差し込みます。
	電源コードがソケットか壁コンセントに差し込まれていない。	電源コードをソケットか壁コンセントに差し込みます。
	電源コードがソケットか壁コンセントに正しく差し込まれていない。	電源コードを抜いてソケットか壁コンセントに正しく差し込みます。
	ソケットか壁コンセントが機能していない。	電源コードを抜いて別の壁コンセントでお試しください。
クリーンモードが正しく作動しているのにタンピングが開始しない。	ポルタフィルターが完全に挿入されていないため、センサーがポルタフィルターを検知しない。	ポルタフィルタークランプを再調整します。
タンピングされたコーヒーがタンピング後均一でない。	コーヒー粉がPUQpress使用前に均一になっていない	タンピング前にコーヒー粉をポルタフィルター内で平らにしてください。
	ポルタフィルターがタンピング中安定しない／ガタつく。	下部クランプを再調整します。
PUQpressがオンでディスプレイが機能しているのにタンピングが開始しない。	非接触センサーの欠陥。	販売店にお問い合わせのうえ非接触センサーを交換してください。
駆動ユニットに異常音がする。	駆動ユニット（電子モーターとギア）が摩耗している。	販売店にお問い合わせのうえ駆動ユニットを交換してください。その際、駆動ユニットがこれまでに実行したタンピングサイクル数をお伝えください。これにより販売店は駆動ユニットの交換が保証に含まれるか、または交換はメンテナンスに該当するかを判断します。

その他の機能不良や継続エラーが見られる場合は、メリタジャパンお客様相談室までお問い合わせください。

11

別売品

M3用

M5用

ゴム足調整 (2個セット)
本体底面に取り付けて、
タンパー本体を安定させます。



品目コード
42520

—

ゴム足 (4個セット)
本体底面に取り付けて、
タンパー本体を安定させます。



共通部品
品目コード
42530

コーヒー粉受け
ポルタフィルターからこぼれた
コーヒー粉を受けます。



品目コード
42529

品目コード
42537



天板 (黒)
本体天面のカバー
(ブラックモデル用)

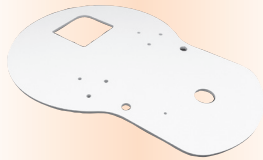


品目コード
42518

品目コード
42535

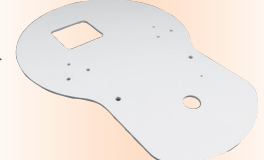


天板 (白)
本体天面のカバー
(ホワイトモデル用)



品目コード
42519

品目コード
42536



タンパー固定用ねじ
タンパーを本体内に
固定する部品です。



共通部品
品目コード
42521

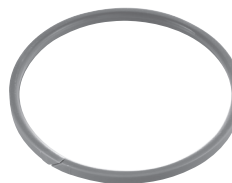
タンパー
ご使用のポルタフィルターに
合わせて直径をご確認ください。

共通部品



ポルタ フィルター	タンパー 直径サイズ	品目 コード
58mm 製品用	58.3mm	42523
	58.0mm	42522
	57.3mm	42524
54mm 製品用	54.3mm	42525
	53.0mm	42526

タンパー用Oリング
57.3mm～58.3mm
53.0mm～54.3mm
ご使用のポルタフィルターに
合わせて直径をご確認ください。



共通部品
品目コード
57.3mm～58.3mm = **42527**
53.0mm～54.3mm = **42528**

ディスプレイステッカー
タンピング圧やタンピング
モードを設定するディスプレイ
の交換用ステッカー

共通部品
品目コード
42517



製品保証書(業務用マシン・お客様設置)

設置機種	シリアル番号				
設置店名	設置店連絡先(電話番号)				
設置場所(住所)					
設置日	年	月	日	保証期間	設置日より1年間

※本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

●対象マシン

本保証書に記載のマシン。

●保証サービス規程(持込「宅配」修理サービス)メリタジャパン株式会社(以下「メリタ」といいます。)、本保証書記載のマシン(以下「本製品」といいます。))を対象として、以下の保証サービス規程に定めるところに従い、無償修理を提供します(以下「本保証」といいます。))。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で且つ、本製品のメーカーにより規定される保証規程にて保証対象となる故障(以下「自然故障」といいます。))を対象とします。
2. 第9条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

保証期間は、納入日当月より起算してその翌月から1年間とします。保証期間内において本製品に係る修理回数に制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりメリタより交換品(新品)が提供された場合であっても、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条. 保証内容及び費用

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額(以下「保証費用」といいます。消費税込。))が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。なお、修理見積りが購入金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。なお、取り外した部品はメリタの所有となります。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. 本製品のメーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他本製品のメーカーがその責任により本製品の修理を行えず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合(事業承継等により、本製品のメーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。))。
3. 本製品が、系列店ではなく第三者に転売、譲渡された場合。

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める費用は、本保証の保証費用には含まれず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、以下に定める費用は例示であり、本保証の保証費用に含まれない費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、メリタの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する運賃・コレクト手数料等。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要な費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
6. 修理以外の点検費用や本製品の消耗品についての費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

1. 保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、メリタジャパンお客様相談室に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手順の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。
2. お客様から保証修理のご依頼をいただいた際、メリタジャパンお客様相談室では、お客様の本保証に関する保証登録情報(製品情報及び設置先情

報)の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書の保管・管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。

3. 保証修理に際しメリタが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行う場合があります。この消去につきご同意いただけない場合は、保証修理はいたしかねます。
4. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。その場合は、改めて修理依頼をしていただきますようお願いいたします。

第7条. 個人情報の使用

1. メリタは、関係法令に従い、お客様よりご提供いただいた保証項目を含め、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、メリタの責任において、事業協力会社(メーカー・修理会社・販売店・金融機関等)へお客様の個人情報を提供します。なお、個人情報の取扱いの全部または一部を、お客様からの同意を得て他社に委託する場合があります。

- ①保証修理(代替品の提供を含む。))に際してメリタと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
- ②本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として行う、お客様に対する電子メール、郵便物によるアンケート調査の結果。
- ③サービス案内およびキャンペーン等の実施の場合。
- ④本保証の品質向上を目的として行う、お客様における本保証の利用に関する情報の収集、分析の結果。
- ⑤ご提供いただいた個人情報を第三者へ提供することにつきお客様のご同意をいただいた場合。
2. お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その利用目的の通知、開示、追加

訂正または削除、利用の停止および第三者への提供の停止(以下「開示等」といいます。)に応じます。

第8条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等)、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害(障害に起因する死亡及び怪我を含む。)並びに他の財物に生じた損害に関して、メリタは一切の責任を負わないものとします。但し、メリタの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第9条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとし、原則として有料にさせていただきます。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名が無記入の場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. お客様又は第三者の故意若しくは過失又は本製品のメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び損傷。
4. 水質、水圧、湿度、温度、設置場所の傾斜、振動など、取扱説明書・仕様書に記載している条件外の使用が要因で発生した故障及び損傷。
5. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用(日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等)等、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損傷。
6. 本製品のメーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損傷(車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。)
7. 移設、輸送、破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、調波変)、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物(金属、カビ、塵、埃、虫、鼠等)の混入等の外部要因事由に起因する故障及び損傷。
8. 消耗品(浄水カートリッジ、クリーナー、フィルターペーパー、パッキング、電池、等メリタが指定する部品)の交換に係る費用。
9. 消耗品単体の故障及び損傷。
10. 本製品のメーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損傷。
11. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品

を保有しておらず、本製品の所在及び状態が確認できない場合。

12. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの(外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等)。
13. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損傷(外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む。)
14. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
15. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
16. メリタが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、本保証の対象となる故障及び損傷の存在を確認できなかった場合。
17. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
18. 修理を伴わない調整(味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加)、清掃。
19. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
20. 本製品を日本国外に持ち出された場合に生じた故障及び損傷保証修理依頼。
21. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損傷。
22. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損傷。
23. 戦争(宣戦の有無を問わず)、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事変に起因する故障及び損傷。
24. 本製品の故障及び損傷に係る申告内容の真实性について明らかな疑義がある場合。
25. 本製品と異なる製品(シリアル番号等が異なる場合)の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合(但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。)
26. 本製品をメリタまで修理のために郵送する際、お客様の梱包方法・輸送時の衝撃に起因する故障および損傷。

第10条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第11条. 解除

1. メリタは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。
 - ① 暴力団、暴力団員(暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。)、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力(以下「反社会的勢力」といいます。)に該当すると認められること。
 - ② 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
 - ③ 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
 - ④ 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
 - ⑤ その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。
2. 前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時まで発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、メリタは、当該保証修理費用相当額の支払いを請求することができます。

第12条. その他の注意事項

1. 故障並びに損傷の認定等についてメリタとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、メリタは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品について、返却可能日をお知らせしている場合(お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。)、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、メリタにて処分します。その際には修理費用(キャンセルに伴う一切の費用を含む。))に加え、処分に必要な費用の一切を、メリタの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第13条. 本規程の変更

1. メリタは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、メリタのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

販売者 メリタジャパン株式会社 東京都江東区亀戸2丁目26番10号 立花亀戸ビル6F

Melita®
JAPAN

●この保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報、保証期間内の修理やその後のアフターサービスに利用させていただく目的から記録に残す場合がありますのでご了承ください。●修理や配送を当社から協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供することはありません。

puq[®]
PRESS

Melitta[®]
JAPAN

www.Melitta.co.jp

